

# 「ホタテの日」記念イベント開催

## むつ湾漁業振興会

本県の基幹産業であるむつ湾ホタテを広く県内外にPRして、ホタテの消費拡大を図ることを目的に、平成11年度に青森県漁連とむつ湾漁業振興会では、毎年6月18日を「ホタテの日」と制定した。

6月がホタテの日に制定されたのは、むつ湾のホタテが最も美味しい時期であることとホタテの生産量が一年間で最も多いことから6月とした。

制定5年目を迎えた今年は18日が水曜日ということもあり、市民が足を運びやすいようにと21日（土曜日）に行われ、青森市アスパム前においてホタテの記念イベントが盛大に開催され、大勢の市民や家族連れでにぎわった。

開催に先立ち、むつ湾漁業振興会三津谷会長は「漁業者が大切に育てたむつ湾ホタテは今が一番美味しい、最近では健康食品としても注目されています。皆さんじっくりと味わって下さい」と挨拶し、午前10時から正午まで2時間にわたりイベントが開催された。

今年のイベント内容は、昨年同様に先着1,500名にボイルホタテの無料配布、県内13市町村の高齢障害福祉施設への無料配布、更にホタテボイル焼きの試食や子供たちへは記念風船のプレゼントが行われた。

その他、会場ではホタテ貝むき競争が行われ、優勝者には豪華商品プレゼントもあることから、主婦や子供達が多く参加し、中には漁業者顔負けの腕前の方も見受けられ熱戦が行われていた。

主催者は「ホタテの日」も5年目を迎え、ようやく市民に浸透されてきた。来年以降も引き続き、イベント開催を続けながらホタテの消費拡大を図りたいと話していた。



主催者を代表して挨拶する三津谷むつ振会長



ホタテ貝むき競争



ホタテ無料配布風景